



## 想いを伝える活動（表現の場）

コロナ禍で多くの活動が中止になったり、縮小したり……、もう2年近く繰り返されていることですが、そのような中でも子どもたちは、「できる活動をできる方法で実施する」ことに、くじけることなく、しらけることなくひたむきに取り組んでいます。この度の第6波、まん延防止等重点措置中においても、同様です。そんな子どもたちのひたむきさに、教職員も勇気をもらい、「簡単にやめない。あきらめない。」を継続しています。

そういった中、最近取り組まれている、想いを伝える活動について紹介します。

### <その1> 3年生の取組

多くの3年生は、来月上旬の公立高校の入試に向けてラストスパートをしている最中ですが、すでに進路が決定した3年生が、朝の昇降口が開いてからすぐ、校内を清掃しています。

「心のゆとりができたからこそ、みんなのために何かする」というスタンスで、級友や下級生に想いを伝える場となっています。



寒い朝、かじかんだ手で清掃活動をしています。膝をついて丁寧に……。その姿を登校してくる級友や後輩が目に見ています。



置いている自分の荷物の整理整頓も忘れないところはさすがです。



### <その2> 2年生の取組

部活動がなく放課後に自由な時間が増えてから、自宅や地域で生活、活動することが多くなりました。そんな中、「自由な時間をよりよく使う」ことについて、2年生が中心となって考え、行動しました。①生徒会が部活動中止期間中に「自分を磨け!チャレンジ週間」と題して、全校生徒にアンケートを行い、集計結果を校内放送で紹介し、②各部活動のキャプテンや部長が集まって、部活ができない放課後の自宅や地域での個人練習の方法等について、情報共有しました。生徒会は全校生徒に、キャプテンや部長は、各部員に想いを伝える場となりました。

<放送で紹介されたアイデア>  
 ○英語の発音記号を暗記する!  
 ○勉強をはじめる前に腹式呼吸をする!  
 ○お菓子作りに挑戦する!  
 ○毎日30分間ボールと話す!  
 ○お風呂を洗って一番はじめに入る!  
 ○集中が切れそうになったら松岡修造さんみたいに、自分に向かって「諦めんよ」と叫ぶ!



### <その3> 1年生の取組

「今だからこそ、あいさつを大切にしよう」と考えた1年生の学年リーダーが、1年生を対象にあいさつに関するアンケートを実施し、課題や問題をまとめました。21日の学年集会では、1年生の生活安全委員のリーダーが、あいさつをすることのメリット、素晴らしさ等について、1年生全員に想いを伝えました。1年生全員であいさつについて想いを共有する場となりました。



浅江中では、「行事ができなくても(縮小しても)、子どもたちが表現できる場をできるだけつくろう!」を合い言葉に、学校教育活動を展開しています。子どもたちからの提案を教職員がサポートすることもあれば、教職員からの提案に子どもたちが積極的に関わることもあります。子どもも大人も「気づき、考え、行動」することが、今の浅江中の様々な取組の原動力となっています。